



会長 及川昭宏
 幹事 太田陽平
 会報 猪股育夫

例会場 ホテルサンシャイン佐沼
 ☎22-8180 FAX22-0327

例会日 毎週木曜日 12:30~13:30

事務所 ホテルサンシャイン佐沼
 ☎22-8180 FAX22-0327



第2835回例会 2022. 10. 13 No.10

本日の出席率
 ・本日の出席率 68.01%

ニコニコボックス

- ・及川昭宏会長 本日は、米山記念奨学会委員会のフォーラムです。よろしくお願いします。
- ・佐々木源悦会員 今日は、米山のフォーラムです。米山奨学生の印海兵君のスピーチです。よろしくお願いします。
- ・佐藤幸一会員 米山奨学会の佐々木源悦委員長、永い間大変ご苦勞様です。本日のフォーラムにご期待いたします。
- ・飯塚仁哉会員 100%出席のご褒美を頂き、当分やめられそうもなくなりました。
- ・江川元徳会員 ラジオ放送で聞きました。今日は「さつまいもの日」皆さん、さつまいも好きですか。
- ・八谷郁夫会員 米山記念奨学会フォーラム、印海兵さんのスピーチ楽しみです。
- ・菅野幸一郎会員 米山委員会佐々木源悦委員長のフォーラムご苦勞様です。
- ・高田次雄会員 平成6年10月に最高値の96円55銭、令和4年10月には146円16銭、約50円もの差。この先どれだけ円の価値が消えていくのか。無資源国日本、先が案じられます。米山記念奨学会委員会、佐々木源悦委員長、長年ご苦勞様です。本日のフォーラム勉強させて下さい。
- ・菅原慶一会員 米山記念奨学会、留学生の印海兵さんを歓迎して。
- ・二階堂恭子会員 10月12日、マルニ食品(株)手延工場が完成。麺や文左の隣りに見学出来る工場として竣工式が行われました。
- ・阿部康史会員 全国旅行支援、コロナBA5対応ワクチン。このままコロナが収束しますように。
- ・佐々木崇会員以下 米山奨学生印海兵さんを歓迎。佐藤敬喜会員 千葉吉男会員 佐竹孝行会員

- 遠藤光則会員 猪股育夫会員 岩瀬正彦会員
 - 熊谷敏明会員 高橋利光会員 布施孝尚会員
 - 小野寺伸浩会員 富士原裕子会員 武川毅会員
 - 岩淵栄市会員 杉田広仁会員 大畑好司会員
 - 千葉正宏会員 伊藤幸子会員 關孝会員
 - 志賀昭洋会員 村上正弘会員
- 以上、ありがとうございました。

会長要件 及川昭宏会長

このところ急激に寒くなってまいりました。会員の皆様におかれましてはお体をご自愛いただきお過ごしください。

今週は米山記念奨学会委員会によるフォーラムとなります。佐々木源悦委員長よりよろしくお願いします。米山記念奨学会の奨学金を使用されている方々を俗に米山奨学生と呼んでいることもあります。

登米市内では旧米山町がありましたが、皆様ご存知の通り米山小学校はありませんでした。しかし現在の学校再編で米山小学校ができるかもしれません。実は市内では学校再編が進んでいるということです。小学校については現状では旧町に1校で中学校は周辺地域(森林ゾーン)では2町に1校という配置になるようです。子供の減少でやむを得ない対策だと思いますが、寂しい限りです。

今まで存在していたものが変化し消えていくというのは正に諸行無常といえるのではないのでしょうか。常に起きていることに目を向け将来をイマジンしなければならぬと思います。最後にこの言葉で会長要件を終了させていただきます。「いつまでも、あると思うな、親と金」

幹事報告 大畑好司副幹事

- ・ガバナー事務所より 公式訪問についてのお願いと連絡が届く
- ・ガバナーエレクト事務所より 1. 事務所開設の案内が届く

- 2. 次年度クラブ情報登録のお願い
- ・仙台泉RCより、創立50周年記念誌が届く
- ・南三陸町 佐藤仁町長より 道の駅「さんさん南三陸」のグランドオープンに際し、日頃の支援に対する感謝の文章が届く。

各委員会報告

- ・職業奉仕委員会 (志賀昭洋委員長) 次週の例会は職場訪問例会です。「遠山之里」に集合し、12時30分より開催します。例会場所をお間違いないようお願い致します。
- ・青少年奉仕委員会 (大畑好司委員長) 少年少女剣道大会は11月16日(休)、少年少女野球大会は11月19日(土)、20日(日)に開催の予定です。詳細は後日ご案内申し上げますのでよろしくお願い申し上げます。

◎2021-2022年度100%出席者表彰(16名)

- 武川毅会員 千葉正宏会員 飯塚仁哉会員
- 江川元徳会員 及川昭宏会員 小野寺伸浩会員
- 菅野幸一郎会員 佐々木源悦会員 佐藤敬喜会員
- 佐藤幸一会員 菅原慶一会員 杉田広仁会員
- 高橋利光会員 八谷郁夫会員 富士原裕子会員
- 布施孝尚会員



2021-2022年度100%出席会員

フォーラム

- ・米山記念奨学会委員会 (佐々木源悦委員長) 米山小学生の印海兵君が見えていますのでスピーチをしていただきます。10月は米山月間となっております。米山記念奨学会についてご理解の上、寄付をお願いいたします。皆様の寄付金は日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給され、支援することにより、日本と世界との平和の懸け橋になる人材を育てています。

○印海兵奨学生のスピーチ

この様なスピーチの機会をいただきましたので、今日は、最近勉強している内容をお話し、皆さんと分かち合うことが出来たらいいのではないかと思います。少し専門性のある内容ですので、やや難しいかも知れませんが出来るだけ分かりやすく自分の言葉で説明したいと思います。大乘仏教における慈悲の実践について発表します。



スピーチをする 印海兵米山奨学生

私は初めて仙台に来た時に、高さは100mもある大観音菩薩の像を見ました。皆さんは観音菩薩を考える

時頭に何が浮かびますか? 仏教においては慈悲の心を像徴した仏様です。慈悲は今日常的な言葉ですが、慈悲の本当の意味を理解するのは難しいことと思います。今日は日常のケアの場面での考察を通して慈悲の意味を解明したいと思います。

誰かをケアする時には思いやりや愛情をもって相手をケアすることが普通です。相手が良い状態へと変わり、更には喜びや感謝の気持があればケアを持続することは出来ますが、ケアをしても事態の好転がなく、相手からの不満や反発があれば、やがてケアの意味がないと感じてケアをやめてしまいます。

これらの弊害は人間同士として不可避なことです。慈悲とは、本来的に人間を超越する次元から現われてくる精神的態度であり、人間同士のやりとりをも包み込むはたらきです。慈悲の心をもってケアするならば、ケアする人の精神的態度は、ヒューマニズムに基づくケアを乗り越えていきます。人間同士で行うケアは機能不全を内に含んでいますので、ケアの実際には倫理的な精神的態度や専門的知識をもって対応することが必要です。

ケアの倫理を発達モデルの観点から捉えるキャロル・ギリガンの考察によれば、ケアする人格の形成には次の三つの段階があるといえます。

第一段階: 他者との関係の中において、自己の生存を確保するためにもつばら自分自身をケアすることに焦点が当てられる。

第二段階: 自己中心的な思考に対する反省が起こり、代って責任の観念に目覚めて、自己と他者の関係について新たな洞察が始まる。

第三段階: 不安定であった人間関係への反省が起こる。つまり、ギリガンの考察によれば、ケアする人格は自己中心から他者中心へ、さらに自己と他者との相互性へという展開を経て、自己も他者も共に傷つけることのない精神的態度を獲得することで、形成されると考えられる。

慈悲が語られるときには、必ず「無量(限りがない)」という形容句が伴っています。つまり、慈悲はあらゆる生命に向けられる絶対的な平等性・公平性を含んだ言葉であります。

- 慈無量心: 生けるものに樂を与えること。
- 悲無量心: 苦を抜くこと。
- 喜無量心: 他者が苦しみから解放されることを自己の無上の喜びと共有すること。
- 捨無量心: 無頓着であり、心に偏向はなく、平静で平等な心を保つこと。

このうち、特に「捨」についての洞察は仏教に特有で、無量の心としての「捨」は徹底して自己や他者への執着から自由になることであり、仏教的な生き方の根底をなすものです。

大乘仏教に至ると、中観学派の開祖である龍樹は般若思想をもとに「三縁の慈悲」を展開しました。衆生縁の慈悲: 自然発生的、人間的な情念から生じる慈悲。法縁の慈悲: 人や物事が因縁によって生じていることを観察して起こす慈悲。無縁の慈悲: 空性を根拠とした絶対平等にして無限なる慈悲のはたらき。

— 慈悲について、詳しい説明がありましたが、紙面の都合上、主旨のみとさせていただきます。